福祉文教常任委員会所管事務調査報告書

令和８年９月１０日

別海町議会議長　西　原　　浩　　様

福祉文教常任委員会　外　山　浩　司

福祉文教常任委員会における所管事務調査に係る福祉文教常任委員会協議会の協議結果について、次のとおり報告します。

記

１　開催日時

（１）第１１回常任委員会

令和８年９月１０日（木）１０時から１４時３０分まで

（２）第１２回常任委員会協議会

令和８年７月２３日（木）１３時００分から１３時３０分まで、

１４時４０分から１５時３０分まで

２　開催場所

委員会室４

３　出席委員

外山委員長、横田副委員長、中村委員、田村委員、貞宗委員、伊勢委員、吉田委員

４　欠席議員

なし

５　委員外

なし

６　調査事件及び協議結果

（１）補正予算関連から（教育委員会）

ア　調査結果

・特になし

（２）医療体制の充実について（町立別海病院）・・・調査終了

ア　調査結果

・　別海病院の医療体制について、現在約４０名の出張医が対応しており、中には２０年以上通っている医師がいて、本町の医療が成り立っているという意見が出された。

・　出張医の派遣元は札幌、関西、沖縄など広範囲にわたっており、特定の枠組だけでは、医師確保が追いつかない現状の意見が出された。

・　常勤の医師が減った一方で、休日や当直のすべてを出張医が担当するようになったため、人件費が大幅に増加している点が指摘された。

・　緊急搬送において、車の搬送では間に合わないケースがあるため、ドクターヘリの活用は妥当である意見が出された。
・　医師の人数、診療科ごとの患者数及び人件費の推移に関する資料を要求する。

（３）こども家庭センターの現状と課題について（保健生活部）・・・調査終了
ア　調査結果
・　こども家庭センターの設立から約１年半が経過し、専門職による包括的な支援体制が整いつつあることを高く評価する意見が出された。
・　現在、非常に有能なスクールソーシャルワーカーが１名で対応しているが、高齢であることから、交代時期や引き継ぎ等を危惧される意見があった。
・　後任の確保や増員について教育委員会と真剣に協議する必要があるという意見も出された。
・　臨床心理士や社会福祉士など、資格を持つ専門職の採用が非常に困難であり、募集しても人が来ない「人手不足と資格不足」が深刻な悩みとして共有された。

（４）障がい児通所支援利用者負担額助成事業について（福祉部）・・・調査終了
ア　調査結果
・　通所施設の経営状況や負担金について説明があり、区分によって利用者負担額に大きな差があることが理解できた。
・　釧路や中標津にも施設があり、利用者がいることに驚きの声があった。

７　その他
（１）柏の実学園について
・　同園では過去に５～６回同様の事案が繰り返されており、振興局の勧告が最も軽い処分に留まっている様だという意見が出された。
・　「何が起きたか（事案内容）」「振興局の判断」「町の対応」の３点を時系列でまとめた客観的な資料を作成し、全体像を把握する必要があるとの意見・提案が出された。
・　重度の障害児を持つ家族にとって同園は不可欠な施設であるため、施設の未来のために根本的な改善を促す必要があると強い意見が出された。（柏の実学園の未来のために）

（２）閉会中の調査内容について
・　別紙のとおり

（３）１０月の日程について
・１０月１９日（月）
・教育委員会と合同で行政視察予定　１０月３０日（金）～３１日（土）